

COVIREGI-JP ダッシュボードについて

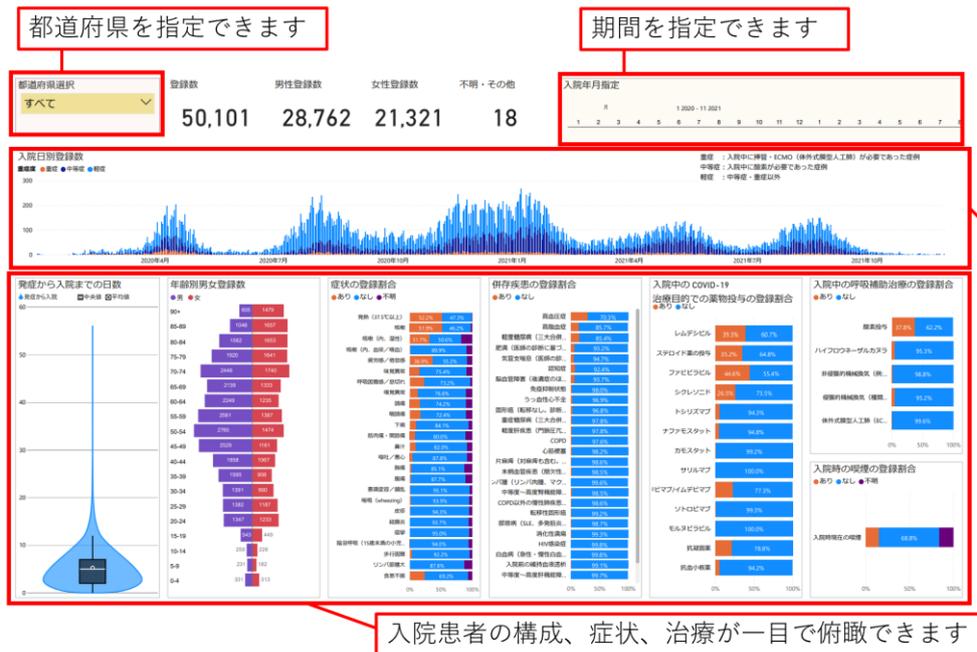
2022年4月6日

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

大曲 貴夫

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（略称:NCGM）国際感染症センターは、「COVID-19 に関するレジストリ研究 (COVIREGI-JP)」（新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリ (REBIND) 内で実施）に登録されたデータを活用したダッシュボードを作成・公開いたしました。(URL : <https://covid-registry.ncgm.go.jp/dashboard/>)。重症患者の推移、年齢男女構成、症状、併存疾患、薬物治療、呼吸補助治療、喫煙状況などを俯瞰することができます。また、利用者が関心のある地域や期間を指定して、その範囲における症例の情報を表示することができます。

【機能紹介 (利用イメージ)】



各波の入院患者を占める重症者の割合を確認できます

入院患者の構成、症状、治療が一目で俯瞰できます

【注意事項】

本研究は入院患者を対象にしており、参加と登録は任意で行われています。地域で登録状況が異なり、国内の状況をそのまま反映しているものではありません。解釈には十分ご注意ください。閲覧に際しては以下の点にご注意ください。

- 重症度定義：**
 - 軽症：中等症・重症以外
 - 中等症：入院中に酸素が必要であった症例
 - 重症：入院中に挿管・ECMO（体外式膜型人工肺）が必要であった症例
- 登録症例**

本研究に参加され任意での登録が終了した報告数であり、実際の都道府県別の入院数を示しているわけではありません。患者退院後にデータが登録されるため、登録までに一定の時間を要します。入院が長期化した症例は反映されていない可能性があります。また、データクリーニング途中のデータも含まれています。
- 層別化情報**

都道府県および月単位の情報を、ユーザーが選択して表示が可能です。
- その他**

欠損値など対象症例の問い合わせ対応中項目は、不明として含めています。

*本データは、REBIND (<https://rebind.ncgm.go.jp/>) 内で、COVID-19 に関するレジストリ研究のデータを早期公開しています。